

■ 異色の洋画家

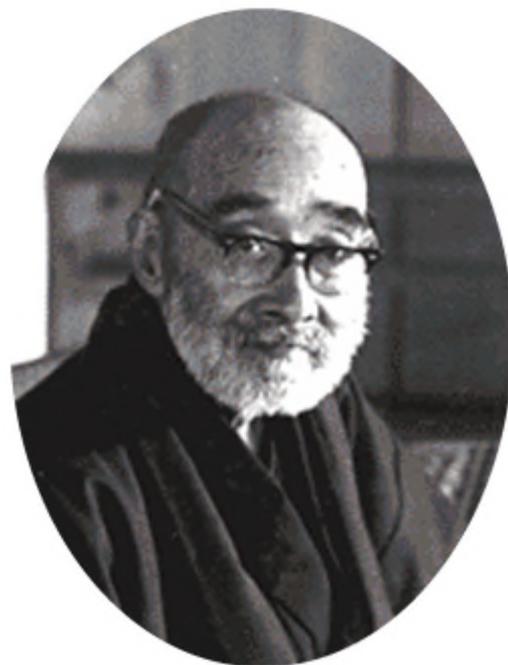
伊藤 弥太

いとう やた

出身地 大館市

1892年（明治25年）～1975年（昭和50年）

はじめ岸田劉生きしだりゅうせいに師事しじし、やがて帝展ていてん、独立美術びじゅつ展てんを経て国画会会員となる。具象画から一時抽象ちゆうしやう画けいとうに傾倒した後、より洗練せんれんされた具象画えがを描くに至る。晩年ばんねんの代表作として「象潟きさかたの初夏」が知られる。



年譜

- 1892年 おおだて 大館市に生まれる。
- 1910年 県立大館中学校卒業。
- 1911年 きしだりゅうせい しじ そうどしやてん 岸田劉生に師事、草土舎展に出品し始める。
- 1912年 国民新聞社記者。
- 1914年 そうりつてん 二科会創立展に入選。
- 1927年 ていてん 帝展に入選。
- 1958年 国画会会友になる。
- 1964年 国画会会員になる。
- 1969年 秋田県文化功労章受章。
- 1975年 おおだて ぼつ さい 大館市で没。83歳。